



ふくおか【Good👍】農業人100
 主な農産物／日本ナシ、米、野菜

佐々木 洋祐さん (31歳) (営農地／うきは市浮羽町)

若手が中心となって地元農業を盛り上げたい

《就農のきっかけ》

父の病気がきっかけ。
 農業の面白さに気づき
 福岡県農業総合試験場へ

「学生のときは農業を継ぐかどうかという意識はありませんでした。」と、語る佐々木さん。卒業後、会社に勤めていたのですが、父が病気でしばらく作業ができなくなったため、会社を辞めて農業を手伝い始めました。そこから、農業の面白さにあらためて気づき、県農業大学校へ行きました。同級生よりも就農が遅かった分、ライバルに負けたくないという気持ちで頑張っています。

《これまでの過程》

弟と一緒に頑張っています。
 一生懸命育てたナシを
 おいしく食べてもらいたい

経営は弟も一緒にやっています。それぞれの生活もあり労力も増えるので、二人の就農に合わせて、ナシの主力品種の面積を増やしました。また、地域の若手農家グループに所属し、イベント等での対面販売や試食会に、積極的に参加しています。

「自分の育てたナシを食べてもらえると、すごくうれしく、やる気も出てきます。」と、笑顔で語ってくれました。



プロフィール

- 家族構成／父、母、祖母、本人、弟
- 前職／会社員
- 営農年数／約5年
- 従業員数／3名
- 耕作(経営)面積／2.8ha
- 販路／JA共販、直売

《これからの展望》

気になる産地の今後。
 もっと仲間同士で相談し合うことが必要

今後は現状を良くしていくのはもちろんですが、将来の目標としては、雇用を活用できる経営の姿も良いと思っています。参加しているグループの経験から、販売にも力を入れて行きたいですが、産地の今後にも気になります。自分のいるナシ産地には若手の担い手がほとんどいません。若手が中心になり、仲間同士で相談し合って、新しい技術を導入するといったことが必要だと思います。



Good👍 成功のためのポイント

農家の後継者に限らず、新規の就農であっても、地域のグループ活動には参加したほうが良いと思います。